

県内高校2年生（保護者）進路希望等に関する調査

1 調査の目的

高校生及びその保護者の進路希望及び県立職業能力開発施設の認知度等を調査し、職業能力開発に関する計画等を策定するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の対象

県内高校2年生及びその保護者

県内高校に在籍する2年生（5,734人）の約20%にあたる、1,239人を調査対象とした。

（普通科：413人、工業系：592人、総合学科：199人、商業科：35人）

3 調査項目

- ・将来希望している職業
- ・進路希望（進学（大学、短大、専修・各種専門学校、職業能力開発施設）、就職 等）
- ・希望分野
- ・短大、専修・各種専門学校、能力開発施設に入校する条件
- ・産短大を進路の選択肢に考えるか
考える場合、その理由。考えない場合、その理由
- ・職業能力開発施設を知っていたか
- ・職業能力開発施設に将来希望する学科がある場合、入学を希望するか
- ・職業能力開発施設に、仮に「商業・工業デザイン系」の学科があれば、入学してみたいか

4 調査の方法

- ・調査実施期間：平成28年2月8日（月）～2月26日（金）
- ・調査方法、回収状況
調査対象となる高校に、アンケート調査票を配付し、各高校において、調査を実施
回収状況：生徒 1,214人（回収率98.0%）
保護者1,164人（回収率93.9%）